

たがたんが行く！ たがたんがわ記憶遺産展

7月20日～9月1日、田川市石炭・歴史博物館開館30周年を記念して行われた特別企画展「たがたんが行く！たがわ記憶遺産展」。期間中、5千529人（うち小中学生は813人）が来館し、たがたと一緒にふるさとたがわの歴史を楽しく学びました。

今回の企画展では、石炭・歴史博物館の館内を6か所（6章）に分け、それぞれテーマごとに展示を行いました。

第1章 二本煙突のナンだたん

伊田坑の歴史を知る上で重要な資料であり、伊田坑の工事の様子が記録されている重錘寄贈記や「二本煙突」などに使用された「刻印レンガ」を展示しました。

第2章 石炭を掘るだたん

普段から展示しているエツやつるはし、かきいた、スラ、炭車などの炭坑道具類を使っている様子や坑道の天井を支え、安全を確保しながら採炭している様子などをパネルで紹介しました。

第3章 炭坑で暮らすだたん

炭坑の語り部である矢田政之さんが制作した、炭坑での生活をちぎり絵で表現した味わい深い作品を展示しました。

第4章 石炭を使ったたん

石炭運搬において重要な役割を担って



↑子どもたちは、たがたと楽しく歴史を学びました

いた「川ひらた」ここでは、「川ひらた」の組合で使用されていた「筑豊船業組合事務所印」を北九州自然史・歴史博物館から借用し、展示しました。

また、清水憲一石炭・歴史博物館付属研究所長から提供された、筑豊の石炭を利用していた頃の八幡製鐵所の様子が描かれた製鐵所絵はがきも展示しました。

第5章 世界記憶遺産を守るだたん

世界記憶遺産などの貴重な歴史資料を害虫から守るため、博物館で取り入れているIPM(総合的病害虫管理)という



↑馬形埴輪をたがたんが詳しく解説

第6章 田川の昔にタイムスリップだたん

田川市の指定文化財である位登八幡神社神像敷板を特別展示しました。また、全国的にも貴重な埴輪であり、博物館でも人気の高い「馬形埴輪」と「甲冑形埴輪」には、たがたんが解説するパネルを設置しました。

手法を紹介しました。また、文化財加害虫がどのような姿や性質なのかを分かりやすく写真付きパネルで解説しました。

田川市制施行70周年記念／田川市石炭・歴史博物館開館30周年記念特別企画展 『山本作兵衛コレクションと世界記憶遺産展』

今回の企画展では、保存処置を終え、無事石炭・歴史博物館に戻ってきた炭坑記録画の中から、人気の高かったものを展示します。また、新しく世界記憶遺産となった国宝「御堂関白記」と国宝「慶長遣欧使節関係資料」はどのようなものであるのかを探求する展示を行います。

●とき 10月26日(土)～11月24日(日)

●ところ 石炭・歴史博物館第2展示室
●観覧料 一般210(150)円、高校生100(70)円、小中学生50(30)円
※()は団体料金20人以上、土曜日は高校生以下無料

●展示内容

○山本作兵衛氏炭坑記録画 原画30点程度
○国宝「御堂関白記」および国宝「慶長遣欧使節関係資料」の関連資料

関連イベント

① 作兵衛さんチックな絵を描こう！

作兵衛さんになりきって、石炭・歴史博物館1階展示や埴輪、二本煙突など博物館に関連する絵を描き、その絵に文字を入れた作品を募集します。

応募作品は、企画展開催期間中、博物館で展示します。

●申込期限 10月23日(水)

●展示期間 10月26日(土)～11月24日(日)

② 昔の遊びに挑戦！

山本作兵衛氏の炭坑記録画に登場す

る昔の子どもの遊び(竹馬、おはじきなど)を体験します。※事前申し込み不要。
●とき 10月26日(土)、11月10日(日)、17日(日)いずれも13時30分
●ところ 石炭・歴史博物館内産業ふれあい館
●石田川炭夫×博物館 オリジナルクリアファイル
田川商工会議所・田川市観光協会観光振興PRキャラクター「石田川炭夫」と石炭・歴史博物館をあしらったオリジナルクリアファイルを販売します。

●販売開始 10月26日(土)

●価格 1枚100円

④ 企画展パンフレット
田川市制施行70周年記念／田川市石炭・歴史博物館開館30周年記念特別企画展『山本作兵衛コレクションと世界記憶遺産展』オリジナルパンフレットを販売します。

●販売開始 10月26日(土)

●価格 1冊800円



この地から石炭の歴史が始まった

芳ヶ谷石場に石炭発見伝承の地記念碑が建立

白鳥町に「田川石炭発見伝承之地」と刻まれた記念碑が完成し、8月25日に完工式が行われ、関係者など約40人が参加しその完成を祝いました。

記念碑が建立された芳ヶ谷石場には、天正14(1586)年、豊臣秀吉の九州出兵の際に近くの城から落ち延びた武士村上義信が、付近の黒い石でかまどを組んで炊きかしたところ、その石が燃え始めたという伝説があり、市内で初めて石炭が発見されたという言い伝えがあります。

村上義信の子孫であり、この記念碑を建立した医師の村上直秀さんは「田川の石炭産業の原点がここにある。石場で石炭が発見された歴史を伝えていきたい」と話しました。



↑式典後、記念碑を興味深げに見学する参加者



出来上がりが楽しみ！

↑お気に入りのアクセサリをつくりました



何かいる？

↑ちょっと怖いけど、害虫を探索しました



本物の炭坑みたい！

↑夜の博物館を、ヘッドライトを頼りに探検

関連イベントも大盛況

今回の特別展開催中には、夜の博物館で坑内体験ができる「ナイトミュージアム・アドベンチャーへGO!」、文化財を加害虫から守る活動を体験できる「Let's! 文化財をまもろう!」、古代のアクセサリーをつくる「勾玉つくり」が行われました。
「勾玉つくり」は例年開催されていますが、その他2つのイベントは初の試みとして行われ、参加した小学生や中学生の子もたちには、夏休みのいい思い出となったようです。
3つのイベントすべてに参加したという宮崎良太くん(鎮西小4年)は「普段と違う体験ができておもしろかったです。また参加したい」と笑顔で話しました。

